

平成24年1月12日に提出されました「申し入れと公開質問」について
 下記のとおり回答させていただきます。

質問	回答
東葛西保育園の件について、経過と測定結果および対処策について公表・説明する予定はないのか？ ないのならその理由は何か？	測定結果の数値は保育園に掲示しました。なお、本区では、個別の案件についてはホームページ等で公表していません。
東葛西以外にも何園か今回の指示に基づいて側溝清掃が行われ、汚泥が出ているとの報告があります。 それはいくつの保育園なのか？ どこの保育園なのか？ 汚泥の放射線量は測定したのか？測定したのであれば結果はどうだったのか？ どのような業者が、どのように処理したのか？	側溝清掃を指示したのではなく、例年行っている通常の側溝清掃の中で出た廃棄物について土嚢袋に入れるよう配布したものです。 なお、各園で保管している土嚢袋については、区の方針に基づいて適正に処理します。
この時期に、放射線量の測定もなしに、高線量が疑われる側溝の一斉掃除を指示したのはなぜか？	例年行っている通常の業務として、その処理方法について指示したものです。
少なくとも、高線量汚泥が出た事を踏まえれば、再考の余地はないのか？	今年度の清掃については、既に終了しています。なお、来年度、国の基準が変われば検討します。
同様にこの事実を踏まえて、あらためて側溝等の測定と除染の考えはないのか？	現時点では実施の予定はありません。
組合のピラによれば、分会に対して保育課長は「マイクロスポット探しはしない」「独自の測定するのはやめてほしい」と回答されたようですが、これはあまりにも民意に反していると考えますがいかがですか？	測定方法、時期及び場所は、保育課単独で測定することはないということです。

《担 当》

子ども家庭部保育課庶務係
 植田 光威

Tel 5662-0063(直通)

平素より区政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
ございます。

ご質問の「いったい誰の判断と責任で・・・」と「世田谷
や杉並でも・・・」の件について回答いたします。

1 江戸川区の放射線対策については、庁内の全体で連絡会
議を開催しています。

清掃等については、通常の管理の中で各主管課が実施し
ています。

2 世田谷や杉並の件ですが、世田谷では地表面で毎時17
0マイクロシーベルト、杉並では芝生シート中央1cmで
3.60マイクロシーベルトと高い数値です。

江戸川区では、国の対応方針に準じて放射線関連対策を
実施しますが、その放射線の測定については施設管理者の
要請に基づいて環境部で測定してまいります。

各施設での区民等の測定については、施設管理の面から
判断しています。

※国の対応方針

平成23年10月21日、国より「当面の福島県以外の
地域における周辺より放射線量の高い箇所への対応方針」
が示され、地上1mにおける空間線量率が周辺より毎時1
マイクロシーベルト以上高い数値が測定された箇所につい
て国への報告や簡易の除染を求められました。

<担当>

総務部危機管理室危機管理担当係

恩田 茂

電話 03(5662)2037